

事務事業名	赤ちゃんふれあい体験事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	なし
政策名	総合計画 06	誰もが自立し、社会参加できる福祉環境づくり	所属部門	住民福祉 部	保健福祉 課
施策名	16	安心して生み育てることのできる子育て支援	課長名	江口 久子	担当者名
基本事業名	3334	家庭における子育て支援の推進	予算科目	会計 14	項目 16
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 次世代				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入		
		↳ ( 開始年度 13 年度 ~ )		↳ ( 年度 ~ 年度 )	

事業概要	全体計画 (単位:千円)
各中学校を会場として、思春期の生徒(16年度は3年生)を対象に、乳児とふれあい機会を提供している。生徒側の準備学習として、申込のあった学校に事前学習として、シュミレーターによる妊娠疑似体験や乳児の生理や発達などの講義・実技を実施している。また、協力してくれる乳児とその親を募集し、当日までに説明会を実施してふれあい体験日を迎える。実施の前後には、アンケートを実施し、事業による生徒の心理の変化を見ている。	特定財源
	一般財源
	その他
	事業費計 (A)
	人件費
正規職員従事人数	
人件費	
人件費計 (B)	
トータルコスト(A)+(B)	

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
16年度実績 乳児のふれあい体験(抱っこなど)とお母さんからの体験談。事前に行う赤ちゃんの生理・抱き方などの学習。妊娠シュミレーターによる妊婦体験等	名称 単位 ア 実施回数 回
17年度計画 同上	イ ウ
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 希望のあった小中学校の生徒・児童	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 参加児童・生徒数 人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 赤ちゃんや子育てに対するイメージが良くなる。	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア ふれあい体験によるイメージの変化 %
結果(どんな結果に結び付けるのか) 赤ちゃん・子育てについて思春期から関心が高くなる。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 思春期で子育てについて関心がある者の割合 %
	イ ウ

(2) 総事業費・指標等の推移								
	単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	年度 (最終目標)
投入量	事業費	千円						
	特定財源	千円	38	40	30	30	30	
	一般財源	千円						
	その他	千円						
	事業費計 (A)	千円	38	40	30	30	30	0
	人件費	人	6	5	4	4	4	4
正規職員従事人数	年間			0.0242				
人件費計 (B)	千円	0	0	223	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	38	40	253	30	30	30	
活動指標	ア 回	1	1	1	1	1	1	
対象指標	ア 人	122	133	127	130	130	130	
成果指標	ア %	26.0	24.0	23.6				
上位成果指標	ア %	不明	不明	不明				

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 平成11年2月に策定された母子保健計画において、核家族化・少子化などの影響で、小さな子供に接する機会がないまま親になることが問題視され、この事業の必要性が高まった。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 他の市町村でも同様の事業が開始されてきている。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 参加児童はほぼ「参加して良かった」という感想で好評。また、協力してくれた母親からも良い感想が聞かれている。現在実施している中学校関係者からも継続の意向が伝えられている。	

<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>			
<b>目的 妥当性 評価</b>	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	家庭で子育てしていくためには、人間として子供を愛し、育てる気持ちが重要であり、それを育てる環境づくりが大切である。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	少子化、家族力の低下が深刻化する中、健全な母性・父性の育成が町の重要な役割と思われる。
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	対象学校を増やすなど対象者を拡大することによって、成果の向上が期待できる。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	現状で十分な成果は期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	現在町では類似事業がなく、廃止・休止した場合、思春期における直接的な育児学習の場はなくなる可能性が高い。他の様々な母子保健事業に小中学生を受け入れる体制などが必要になってくる。
<b>有効性 評価</b>	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業)  <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由]	乳児の安全性の確保が十分にできなくなる可能性がある。また、相互作用の低下により、成果が著しく低下する恐れがある。
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】	実際の少子化や子供を取り巻く環境の変化に則した育児体験の学習をすることで、父性・母性の育成が促進できる。
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	協力親子の減少により、事業の実施が困難になる可能性がある。事業の効果や重要性を広く町民に知ってもらうことが必要。
<b>効率性 評価</b>	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	乳児の安全性の確保や学習効果を維持するために、現在の専門のスタッフや所要時間が不可欠である。
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	児童・学童に負担を求めることは難しい。

<b>3 改革・改善方向の部(PLAN)</b>																							
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善  <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持					低下	×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			×																			
	維持																						
	低下	×	×																				
(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？  関係機関(教育委員会・各学校)をはじめ、広く町民にその重要性を周知してことが重要。																							